

令和3年10月8日

大阪国際がんセンターの医療安全に係る監査委員会 実施報告

地方独立行政法人大阪府立病院機構
理事長 遠山 正彌 殿

大阪国際がんセンター
総長 松浦 成昭 殿

大阪国際がんセンターの医療安全に係る監査委員会
委員長 北村 温美

大阪国際がんセンターの医療安全に係る監査委員会設置要綱第8条第1号に基づき、監査を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 監査の方法

大阪国際がんセンターにおける医療安全に係る業務の状況について、以下のとおり管理者等からの聴取及び資料の閲覧等の方法によって説明を求めることにより、監査を実施した。

2. 監査の実施日並びに出席者

《開催日時》 令和3年10月8日（金） 15:00～16:30

《場 所》 大阪国際がんセンター 5階 総長会議室

《出席者》 監査委員 北村 温美（委員長）

三浦 潤

三木 祥男

センター 谷上 博信 医療安全管理責任者・副院長

梅下 浩司 医療安全管理部門長・医療機器安全管理責任者

綱島 和子 医療安全管理者・副看護部長

吉田 智江 医療安全管理者・医薬品安全管理責任者・
副薬局長

（庶務）岩永 大輝 総務・広報グループ主事

中前 友花 総務・広報グループ主事

3. 監査の内容及び結果

(1) イエローコールについて

夜間・休日の無断離院患者発生時の全病院体制での捜索が現場から防災センターへのコール1本で効率的に開始される体制を整備し、ポケットマニュアルや医療安全情報、模擬訓練（本年9月16日実施）にて職員に周知にしている旨の紹介があった。

(2) 新型コロナウイルス重症患者受入時の病院体制及び一般患者への影響について

Covid-19以外のがん診療を継続することが、がん専門病院としての役割であると明示していたが、大阪府の要請により、2021年4月末日から2週間ICUにて4名のCovid-19重症患者を受け入れたこと、および、長時間手術を一部延期したが、通常診療への影響はなかったことの報告があった。

4. 総括

大阪国際がんセンターの医療安全に係る業務について監査を実施した。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、様々な体制変更が必要であったと推察されるが、全体として必要な安全対策を遂行していると考えられた。